

(4) 生活習慣病対策機能連携推進事業

1 背景及び経緯

生活習慣病に対応できる歯科医療従事者の資質向上と、医科歯科連携の体制づくりを図るため、平成20年度から3年間、「歯周病と糖尿病の医療連携モデル事業」を実施し、更に平成23年度は、愛知県全体で実施できる歯周病と糖尿病との医科歯科連携体制（あいちモデル）構築のための事業を実施した（図1）。本年度は、これまでの医療連携体制を整理し、「あいちモデル」を具体的に示すための事業を実施する（図2）。

2 目的

- 特定健診・保健指導に歯科保健の観点から効果的な指導ができる歯科医師の確保
- 糖尿病の合併症の一つである歯周病管理を徹底するための医療連携体制の構築

3 事業内容（委託先 社団法人愛知県歯科医師会）

- (1) 生活習慣病指導医スキルアップ研修（年1回）
- (2) 歯周病と糖尿病の医療連携状況調査の実施
- (3) 糖尿病の合併症管理のできる歯科診療所リストの作成（各地区歯科医師会）
- (4) 報告書の作成

図1 生活習慣病対策機能連携推進事業の実施経過

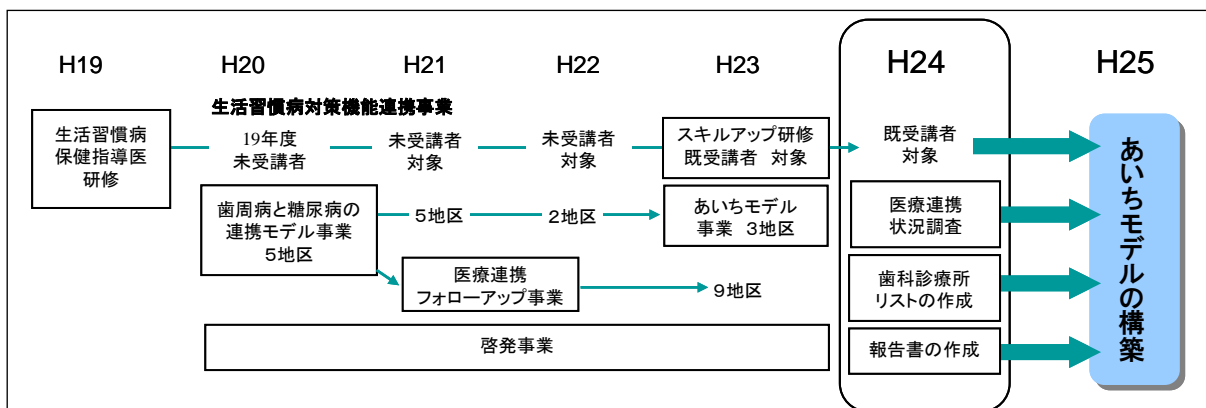


図2 愛知県が目指す歯周病と糖尿病との連携（あいちモデル）体系図（案）

